

2013年9月24日

事業部

日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817号（演技の中断）の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5

21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合
上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断
全体に対し2.0を減点する。

以上がフィギュア委員会に於いて決定いたしましたので、2013 年度ブロック大会より採用いたします。

また、2級以下ロークラスの対応のガイドラインにおいては、

プログラムの中断が起こった場合には、レフリーは10秒毎に0.2を減点する。
レフリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフリーは中断全
体に対し1.0を減点する。

とします、採点支援システムにおいては対応させないので転倒減点を使用して
成績処理をお願いします。

（2015年予定のフルリニューアルにより対応予定）